

京都市左京区総合庁舎整備等事業 建築レポート



左京区
シンボルマーク

皆様、こんにちは、12月で土工事に伴う掘削発生土の搬出は、ほぼ完了致しました。引き続き、躯体関係（鉄筋、型枠材及び生コン車）の搬出入が多くなって参ります。

ご迷惑をお掛けしますが、細心の注意を払い安全最優先で工事を進めて参りますので、皆さまのご理解、ご協力よろしくお願い致します。

今回は、内装工事で使われる間伐材フローリングについてお知らせ致します。当総合庁舎では床の一部に、京都市内産の間伐材（かんばつざい）フローリングが使用されます。フローリングの他にも雨水の再利用及び井戸水の利用、太陽光発電など、様々な環境にやさしい取り組みをしています。

完成予想パース



環境学習授業



12月11日京都市左京区養徳小学校に当社が環境学習授業に行ってきました。建築工事における環境対策などの授業を行い、間伐材を使って楽しくベンチ作りをしました。12月12日の京都新聞の市民欄にも掲載されました。

全景写真

手前の工区の地盤改良は今月で完了です。奥の地下のある工区の掘削残土搬出もほぼ完了しました。



間伐材とは

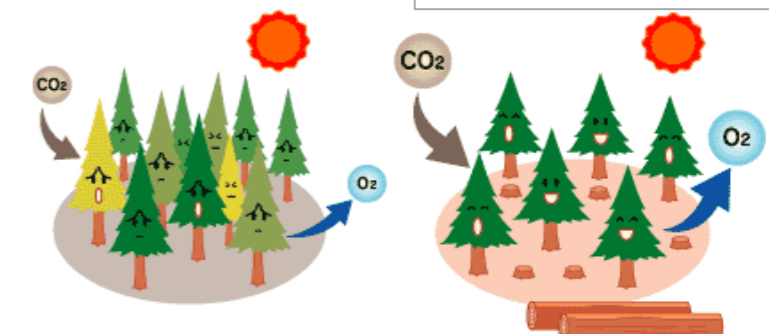
【間伐材とは】

木は育っていくと太くなり、背も高くなって、森は混みあっていきます。曲がって伸びて、となりのじゃまをする木も出てきます。そのままほうっておくと、太陽の光や空気が中まで届かなくなり、森全体に元気がなくなってしまいます。そこで、混みあった木を切って、光や空気が中まで通るようにしてやります。こうして森の健康を守ることによって、私たちは森林資源を長く使い続けていけるのです。その時に切られた木を間伐材といいます。間伐材は成長過程で切ってしまうので細い木が多く、建物を建てる材料には適していません。そのままでは捨てられる間伐材を利用して家具やフローリングなどにする取り組みが行われています。

【環境学習事業】

環境問題に積極的に取り組んでいる京都の企業の環境技術を児童に紹介し、科学する心、環境問題への意識付け、京都の企業の取組や環境技術の興味を深める機会として、京都商工会議所において、平成14年度から実施している事業です。

京都市内産フローリング



株式会社 妙左京

株式会社 藤井組

VOL.4(2009.12.28発行)